

おうちで図工の時間

保護者のみなさまへ

今年度使用する教科書の中から、ご家庭でもできる題材を選び、紹介させていただきます。低学年のお子さんには、声かけや見守りなど、どうしてもご家庭の協力が必要になりますので、よろしく願いいたします。

声かけのヒント【 うまいね！ じょうずだね！ は禁句!? 】

「うまいね」は、褒め言葉で良いように感じますが、とても難しい言葉です。

図工は、創造的思考力を中心に資質・能力を育んでいく教科です。そこで大切になるのが自己肯定感・自信です。低学年のうちに、自分の発想を認めてもらい、表現することが楽しいと感じる経験を積み重ねた子は、その後、意欲を持ち続け、発想力や想像力を伸ばし続けることができます。それがやがて、図工にとどまらず、社会に出てから必要となる創造的思考力を育むことにつながっていきます。

子供が楽しそうに活動し、生き生きとした表情で「みてみて！」と言ってきたら、決してうまく表現できていなくても、子供の発想と一緒に楽しんであげてください。

声かけのヒント【 発想力・想像力が豊かになる声掛け 】

「うまいね」は、上手・下手の評価であるため、ある場合は「うまいね」と言えなかったり、どのような場合でも「うまいね」と言ったり、子供にとっては、「うまく表現すること」が目的化（子供の活動を萎縮化）してしまう恐れがあります。

意欲を引き出し、発想や創造力を伸ばすには、次の様な言葉かけが効果的です。

「これが好きなんだね」 「いい色だね」 「この色の組み合わせいいね」

「かわいいね」 「かっこいいね」 「〇〇くん（ちゃん）らしいね」

「よく見てかいてるね」 「おもしろいね」 「たのしいね」 などなど